自然と暮らし、自然に学ぶ、豊かな暮らしを考える情報誌

ご自由にどうぞ TAKE FREE

ふんわり #44

2023.1 Winter Issue

fu-n-wa-ri

ふんわり 第43号 2023年1月10日発行《2,900部》 ふんわり編集部・宮城県仙台市泉区福岡字西森下39-13 ☎022-725-2775 funwarinfo@gmail.com

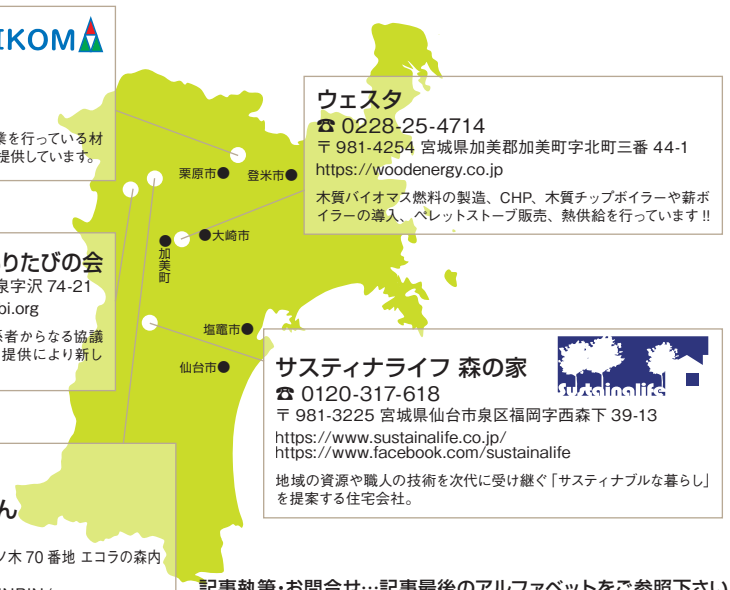
あなたは、
きのこ派？
たけのこ派？

サスティナライフ森の家
竹林と風月を感じる住まい

NPO法人しんりん
植樹した苗の成長を追ってみた。

わたしたちのこと。

ふんわりをキーワードに集まった私たち。
業種もフィールドも違うけど、ユニークでオンリーワンで、おもしろいことができそうです。



㈱くりこまくんえん KURIKOM
☎ 0228-55-3261
宮城県栗原市鶯沢袋島巡 44-7
http://www.kurikomakunen.jp/
伐採・製材・チップ・ペレットと一貫した事業を行っている材木屋です。お客様が安心して暮らせる木材を提供しています。

ウェスタ
☎ 0228-25-4714
〒981-4254 宮城県加美郡加美町字北町三番 44-1
https://woodenergy.co.jp
木質バイオマス燃料の製造、CHP、木質チップボイラーや薪ボイラーの導入、ペレットストーブ販売、熱供給を行っています!!

鳴子温泉もりたびの会
大崎市鳴子温泉字沢 74-21
https://moritabi.org
地元旅館や林業家、工芸家など多様な関係者からなる協議会。森林資源を活用した体験プログラムの提供により新しい旅の仕組みづくりを目指します。

サスティナライフ 森の家
☎ 0120-317-618
〒981-3225 宮城県仙台市泉区福岡字西森下 39-13
https://www.sustainalife.co.jp/
https://www.facebook.com/sustainalife
地域の資源や職人の技術を次代に受け継ぐ「サスティナブルな暮らし」を提案する住宅会社。

NPO法人 しんりん
☎ 0229-25-4668
〒981-6711 宮城県大崎市鳴子温泉字玉ノ木 70 番地 エコラの森内
http://shinrin.org/
https://www.facebook.com/NPOSHINRIN/
森林再生と地域活性化を目指し、持続可能な森づくりときこりの育成を実行中。

記事執筆・お問合せ…記事最後のアルファベットをご参照下さい

N NPO 法人 しんりん
S サスティナライフ森の家
K くりこまくんえん
V ウェスタ
M 鳴子温泉もりたびの会

ふんわり 第44号
2023年1月10日
季刊（年4回発行）

ふんわり編集部
〒981-3225
宮城県仙台市泉区福岡字西森下39-13
☎022-725-2775

funwari_miyagi　freefunwari

編集長ぽすとすくりぷと

あけましておめでとうございます!!たくさん雪が降っていますね。今号から、「くりこま高原自然学校」と「手のひらに太陽の家」が卒業となります。ふんわりスタートから支えてくれてありがとうございました!!寒さに負けず頑張っていきましょう!!

Cover Photo
今回のふんわりすと櫻庭伸也さんの裏山の原木なめこ。天塩にかけて大切に栽培されています。

印刷：コンカツ印刷
岩手県一関市中央町1丁目7-16 ☎0191-48-5963

希望の番号・ご応募の方の住所とお名前（プレゼント送り先）を書いてメール（下のQRコード）か、ハガキでお送りください。その際以下の項目もお書き添えくだされば嬉しいです。【①ふんわりを読んだ感想（気持ちや気づき・編集部へのメッセージなど）②プレゼントを選んだ理由・使い道③ふんわりを手に入れた場所】

present!

1

ふんわりすと櫻庭伸也さんからご提供いただいた無農薬大豆。自分たちで育てた喜びを味わって欲しいと思いみんなで育てた大豆。やりたい人は来春一緒に種まきしましょう。【3名様】

2 森林木香 きこり箸【3名様】S

3 ふんわりと同じ森林認証紙で作った10x10x10cmメモ【3名様】

植樹した苗の成長を追ってみた。

NPO法人 しんりん N

2022年は前年よりも多くの植樹活動があり、私たちNPOしんりんのメンバーも大崎市鳴子にあるエコラの森をはじめ、さまざまな場所で植樹活動のお手伝いをしてきました。その数合わせて1,500本！ほとんどが広葉樹です。今回はその中でも最初に植樹した苗の成長を追いかけてみました。

2022年、最初の植樹活動は3月中旬。エコラの森にはまだ雪が残っている時期でした。本当はもっと暖かくなってからの方がいいのですが、様々な理由から3月に植樹することになり、日当たりのいい場所を選んで植樹。この時は苗もまだほとんどが眠った状態でした。

その後、雪が解けて、本格的な植樹シーズンが訪れる頃には苗も少しずつ目覚め始め、植樹から２か月後には緑の葉っぱがたくさん出てきました。

でも、苗にとって大変なのはここから。実は、眠っている間に植樹された苗が暖かくなって目覚め、葉っぱを出すところまではだいたいうまくいきます。ここから夏に向かって上昇する気温と、勢いを増す草が植樹されたばかりの苗にとっては大敵。特に日当たりのいい場所を選んだ最初の植樹地はあっという間に草に覆われてしまいました。2022年は、雨が降る→晴天→雨が降る→晴天というサイクルが多かったこともあり、草は元気いっぱいです。

その草の元気が少しなくなってきた９月末、シェルターの中をのぞいてみると、苗の背丈がかなり伸びているのがわかります。暑さと草に負けずに夏を越すことができていました。

紅葉の季節になると、苗はいったん成長をやめ、鳴子の雪に負けないように冬支度に入ります。

たくさん植樹した苗の中には夏の暑さを越えられなかったもの、豪雨で流されてしまったものもありました。そして冬の間に力尽きてしまう苗も出てくると思います。それでも１本でも多く、大きく成長できるように私たちも見守っていきたいと思います!!

1ヶ月

植樹後１カ月たった頃に苗をシェルターの上からのぞいたところ。まだ、目覚めていないようです。

2ヶ月

植樹から約２カ月後。眠りから覚めた苗が成長を始め、小さな葉っぱをたくさんつけています。ちょっと窮屈そうですが、鹿に食べられてしまうのを防ぐために、このシェルターは外せません。

6ヶ月

9月末の様子。中をのぞいてみるとずいぶん大きくなっています。来年にはシェルターの上まで達して、横に枝を伸ばせるようになるかもしれませんね！

ふんわりズム、ふんわりすと。 ism＋ist

それぞれの場所で輝きながら、スッと立っている人がいます。
しかも、ふんわり。
そんな人たちに、会いにいきました。
ふんわりの、巻頭リレー。

農泊体験▷仲良くなった大学生が再訪問。卒業旅行として1週間宿泊。

くりはらし もんじちくもとちいきおこし きょうりょくたい
栗原市文字地区元地域おこし協力隊

櫻庭 伸也さん
Sakuraba Shinya

生きる力をつなぐ暮らし

栗駒山の麓に位置する栗駒文字（もんじ）地区。四方八方に広がる四季折々、姿をかえる田園風景も、おいしい空気も忙しない日常から離れてみると、とても贅沢な風景です。

元文字地区地域おこし協力隊の櫻庭伸也さん。移住したての１年目は住まいの環境整備にとても苦労し大自然を相手に暮らすことへの難しさを感じたといいます。

任期中、そして今でも続く、文字地区での原木しいたけ・藍染め・苔栽培など、地域の方々と一緒に、一丸となって取り組んでいます。関わっている大勢の方々の想いに、これからのみらいを担う櫻庭さんへ託す地元の皆さんの期待感を大きく感じます。担い手探しに人口減少など地域としての課題はたくさんあるけれど、「使える資源がたくさんあることが文字の魅力なんです」と穏やかな笑顔で語ってくれました。

震災経験やコロナの状況などが今の暮らしにつながっているのだといいます。自らの手で畑を開墾し野菜作り。山の資源を使って薪作りなど。言うのは簡単だけど、実行することはすごく難しい。自身が掲げる生きる力をつなぐ暮らしを体現することは容易なことではありません。言葉も出ず、ただただ感服してしまいました。

いっしょに農作業をしたり、農作物を収穫して自分たちで調理したりと、五感を使って感じる暮らし体験も櫻庭さんの取り組む農泊事業のひとつ。元々環境に対する関心もあったといい、自身も週末のやすみを使って実際に足を運んで自然を体感することを大切にしていたのだそう。

近況、環境を取り巻くニュースをふむふむと読んでいると、自分たちさえよければそれでいい世界ではなくなっているからこそ、個々の暮らしの質もあげていかなくては！と感じています。「新しい生き方を追求する 一人で追及してもたのしくないのでみんなで歩みながら楽しむ お互いに支えあえるコミュニティーづくりに発展させたい」櫻庭さんの理念に深く賛同し、みんなでやることへのパワーを実感しました。

特産品づくり▷文字の気候は苔栽培に最適。耕作放棄地を活用し栽培拡大を目標。

文字地区風景▷秋の黄金色が広がるこの風景がとても大好きです。

data & information

google map
Facebook

古民家 櫻ノ庭（さくらのにわ）
〒989-5361
宮城県栗原市栗駒文字駒堂7

竹林と風月を感じる住まい

仙台市太白区

住まい手インタビュー

sumai-te interview

ほどよく自然が残る、車の多い国道からちょっと入ったところにある住宅地の一角。敷地の斜面には竹林が広がり、気持ちよさそうに風にそよいでいます。

今回は、仙台市太白区『竹林と風月を感じる住まい』のお引渡し式でお施主様からご挨拶いただいた言葉をピックアップしてお届けします。

「時間をかけてハウスメーカーや工務店を探していましたが、なかなか決め手となる出会いがなかった時にサスティナさんのホームページに出会いました。他の会社とは一線を画すというか、全然違った印象を受けました。伝統的な工法、地元の材を使いながら、大きく日本を超えて地球規模で未来のことを見ているということが伝わりました。実際お会いして話をして、本当にこんなに不器用に経済効率の悪いことをやっている会社があるのか！と驚きました（笑）。ハウスメーカーや工務店のモデルハウスもたっっくさん見てきましたが、結果的に本当に家を建てたいと思えたのは、サスティナさん1社だけでした。」

と、お施主様。

「実は、家を建てる前はストレスなどで体調を崩しており、メンタル面でも人間不信に陥っていました。でも、サスティナさんへ打合せに行くと、楽しくてなぜか不思議と元気が出て、笑顔になって帰宅する、ということが毎回でした。こうして出来上がった家を見て、人って信用できるものなんだよな、ってまた思えるようになりました。」

奥様からも一言。

「よく、家は3回建てるとやっと満足いくものができるというけれど、1回目にして本当に満足できる家ができてしまったと思っています。この家でこれから年を重ねていき、1日でも長くこの家に住んでいられるように健康でいたい、いなくては、と思います。」

次の夏には、敷地にある竹を使って流しそうめんをする計画があるとのこと。開催のご連絡を、社員一同今から心待ちにしています。

S

ホームページはこちらから

ペレットストーブの実演展示と木工品のお店

ノスタルジックさを感じる栗駒六日町商店街。商店街の一本隣にある馬場通りにお店を構えています。

工場内にある大きな燻煙窯。工場内で発生した端材を燃やし煙で燻すことで、化石燃料を使用せず、煙の成分に含まれる天然由来の防虫効果も期待できる木材を生産しています。

生産過程で発生したカンナ屑を木質ペレットにして販売も行っています。燃料としてだけでなく、木の香りがぎゅっと凝縮された木質ペレットは猫砂としての需要もあり「部屋中、木の香りに包まれて気持ちがいい」と使い心地の良さにご好評いただいています。

薬剤なども一切使用しない木材やそこからできた木質ペレットは人にも、動物にもさらには環境にもやさしい地産地消エネルギーです。そんな木質ペレットを燃料としたペレットストーブのお日様に包まれるようなあたたかさをぜひ店頭で体感ください。

おうちの一部となる建築用材をメインに生産しつつ、木材を切りそろえた際にでた端材などを利用しつつ、オリジナルの木工品も制作しています。

「木」らしさを生かした多種多様な木製アイテム。天然木でつくった万年カレンダー。カレンダーの土台なる部分には杉、日にち部分はヒノキを使用しています。

K

ペレットストーブの実演展示&木工品のお店

宮城県栗原市栗駒岩ケ崎六日町51-1
営業日　毎週 金土日 ※月によって変動あり
営業時間　11:00 ～ 16:00

見学のご予約などはお気軽にお問合せください。
くりこまくんえん本社 TEL 0228-55-3261
私たちの取り組み＆イベント出店情報はこちら☞

M

LNTを知っていますか?

Have you heard of "LNT"?

Leave No Trace™ Japan

LNT: Leave No Traceは環境に与えるインパクトを最小限にして、アウトドアを楽しむための環境倫理プログラム。国立公園・国定公園を含めた日本の自然公園は、例えば「焚き火をしてはいけない！」のように規制に基づいた利用ルールによる管理が行われています。一方、LNTはDON'TではなくLET'Sの考え方。ルールで規制するのではなく、こうすればもっと楽しい、もっと気持ちよい！を実践する考え方と手段です。

今回鳴子では、LNTの考え方を実践して、トレーナーを養成する研修を開催し、7人のLNTトレーナーが生まれました。このトレーニングの最大の特徴は、7つの原則を教わってすぐに、他者へ教える主体として参加すること！聞くより話す、話すより教える。アクティブラーニングによって、自分自身への理解が深まります。 大人だけでなく、子どもたちにも知ってもらいたい、鳴子の、東北のスタンダードにしていきたい考え方です。

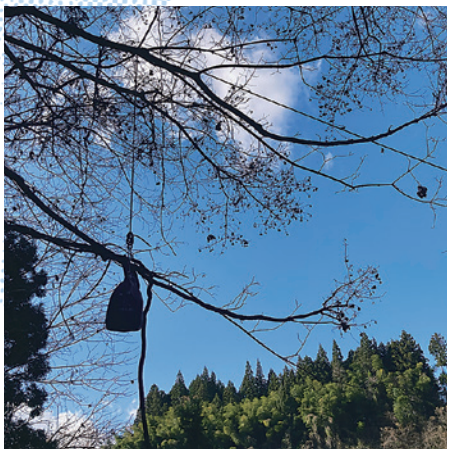
https://moritabi.org/media/

具体的にどんな焚き火をしてはいけないのか、環境にインパクトを与えないためには、どんなやり方があるのか。を自ら考えて実践します。

野外で用を足したい！どんな場所でどうする？

まん中がぬかるんだトレイル。インパクトを与えないで通る方法は？

野生生物が暮らす自然。適切な距離で触れ合うためには？



K ㈱くりこまくんえん
☎0228-55-3261
宮城県栗原市鶯沢袋島巡44-7
http://www.kurikomakunen.jp/

N NPO法人 しんりん
☎0229-25-4668
宮城県大崎市鳴子温泉字玉ノ木70番地エコラの森内
http://shinrin.org/

S サスティナライフ 森の家
☎022-725-2775
宮城県仙台市泉区福岡字西森下39-13
https://www.sustainalife.co.jp/

V ウェスタ
宮城県加美郡加美町字北町三番44-1
http://woodenergy.co.jp

M 鳴子温泉もりたびの会
宮城県大崎市鳴子温泉字沢74-21
https://moritabi.org